

鉄鋼製品と海と森アートコ
スラグ製品と海と森アートコ

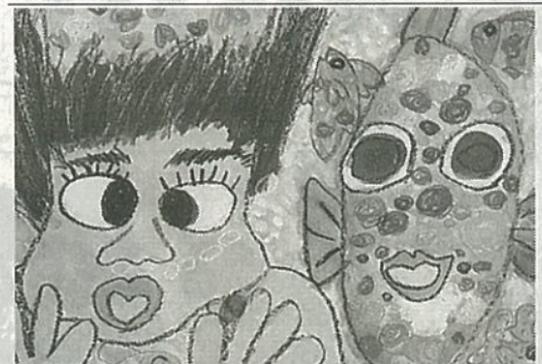
環境の修復等に寄与

鉄鋼協会
スラグ協
会

近年環境問題の高まりとともに「鉄鋼スラグ」という産業資材が注目を集めている。産業資材ということもあり、あまり一般的には知られていないが、この鉄鋼スラグは、実は様々な所で利用されているという。

鉄鋼スラグとは製鉄の過程で必ずできるもので、シリカ等の鉄鉱石に含まれる鉄以外の成分が石灰と結合した副産物。製鉄の約四〇％に当たる年間四千万トン（東京

ドーム十五杯分）の量が生まれている。この大量の鉄鋼スラグは主にセメント原料として明石海峡大橋や東京湾アクアラインなどの大型建造物に使用されている。一般的なセメント原料は焼成工程が必要となるが鉄鋼スラグの場合は不要のため、セメント製造時に使用する石炭や電力の消費量を約四〇％削減でき環境に優しい。さらに鉄鋼スラグの固まりやすく強度も十分あるという特性を生かし路盤材や津波被害に遭った地域の除塩など、東日本大震災の復興事業に利用されている。



また最近では環境問題にも一役買っている。例えば近年日本各地の沿岸で見られる昆布などの海藻が減少する「磯焼け」。これは森林伐採などで「腐植酸鉄」ができなくなり、有効な藻類の育成に必要な鉄分（溶存鉄）の海への供給が減少したことが原因の一つと言われている。そこで鉄鋼スラグに含まれている鉄分を生かした藻場造成材料を設置したところ、

継続的な昆布再生にかなりの成果を上げた。鉄鋼スラグ協会はこのように一見関係なさそうな「鉄」と「海」と「山」が普段

気が付かない所でつながっていることを「知ってもらいたい」という思いから「鉄鋼スラグ製品と海と森アートコンテスト」を実施。学校からも多くの応募がありその思いは広がりがつつある。

活躍する鉄鋼スラグ。低炭素社会実現に向け環境問題を考える一つのきっかけとなるだろう。

鉄鋼スラグの製造過程や「鉄鋼スラグ製品と海と森アートコンテスト」の詳細などについては「鉄鋼スラグ協会」ホームページ：<http://www.slg.jp/> まで。

鉄鋼スラグ協会は、鉄鋼スラグ製品の環境資材としての内容をテスト開催している。

津波被害に遭った地域の除塩など、東日本大震災の復興事業に利用されている。

一般財団法人ヤマハ音楽振興会（東京都目黒区）は十二月二十六日まで、将来音楽の分野で活躍が期待できる若手音楽家を支援する「音楽奨学

若手音楽家を支援する「音楽奨学」

12月26日まで募集

音楽振興会
ヤマハ音楽振興会

海外 日本体験
児童 文化・社会体験